



は机を蹴<sup>け</sup>り、音を立て続けた。それでも彼女はまた耐えることを選んだ。

休み時間になると、先生はセレナのノート  
の字が汚いことに腹を立て、授業を真剣<sup>しんけん</sup>に受  
けていないと責めた。セレナは隣<sup>りん</sup>の人のせい  
だと思ったが何も言わず、ただ、

「先生。ごめんなさい」

と謝った。

「うわー！こんな汚いノートを取る人が本当  
にいるんだ！」

先生が立ち去ると、エリカの声が教室中に響  
いた。

「ごめんなさい。全部私のせいです」